

令和6年度事業報告

10月に開催した法人会全国大会「鹿児島大会」は、全国各地から約1,700名の参加があり、盛大裡に終了することが出来た。

実行委員会は県連で組織したが、鹿児島法人会は開催地であり会員数の規模も大きいことから、当会の役員がスタッフの中心となって運営を行った。

公益目的事業の実施

主要事業である「タックスフェスタ」や「七番神輿」、支部が行う税の啓発活動やイベントの協力等については、コロナ禍以前の規模で実施した。

特に、小中学生を対象とした「租税教育」や「税の絵はがきコンクール」並びに「手作り雑巾の贈呈」事業は、これまで以上の活動の充実を図り、学校教育の一環として活動を継続している。

また、企業支援の一環でもある研修会は、税務や労務関連を中心に企業のニーズが高いセミナーを開催するなど、時代の要請に応えた研修会開催の確保に努めた。

このような地域貢献活動の拡充を図ることで、鹿児島市の活性化の一助となっている。

組織運営と財政基盤

前年度において、500名以上の会員の拡大を図り全国1位になった「会員増強」運動は、令和6年度は、その反動もあり退会者が増え会員数を大きく減らすこととなった。

一方、会員メリットである異業種間の情報交換の機会は、コロナ禍以降、活動が徐々に活発化され、令和6年度も全ての支部で全体会を開催した。